

COM待夢

82号紙
2016年10月29日



10月も終わりになり、だいぶ朝晩も涼しくなってきました。そろそろ衣替えして、すぐそこまで来ている冬への準備もしていけないといけませんね。

さて今月のピカリンcomは岩郷編集長が参加した「仁淀川くいしんぼマラソン大会」をご覧ください。



仁淀川くいしんぼマラソン大会



今月2日、仁淀川町にて行われた「くいしんぼマラソン大会」に出場してきました。この大会は制限時間3時間10分で時間内食べ放題、かつ完走を目指すという胃や腸にとつても過酷？な少し変わった趣向の大会です。今年で2回目の開催となり、定員は550名と少ないものの、エントリー開始から二日ほどで定員に達する程の人気となっています。



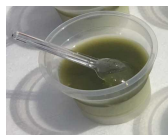
当日は、数日前の台風の影響で川も濁り、仁淀ブルーならぬ仁淀グリーンな状態だったのはとても残念。コース自体は山間部で、とても涼しく走りやすかったのですが、今まで参加した大会の中で最も坂が多いのが結構キツかったですね。

さてメインの食べ放題の方では最初に出てきた串カツにビックリ。朝から脂っこいものはちよつと...と思いつつ、ここでは控えめに。

最初からこれだと後々大変かなと思いましたがその後はこんにゃく、トマト、おでんの卵、パン、梅干しなどバラエティに富んだメニューの数々で難なくクリア。

他に仁淀は沢渡茶というお茶があり、これを大福やプリンに加工したものを売り出しているようで道中これらも出てきました。

ただ、あまりじっくり味わう余裕はなく食べては走りの繰り返しで、完走できたものの結果は2時間59分とかなりギリギリでした。



会場ではアメゴや豚串を焼いたり、そば打ちしたりとちよつぴり祭り気分を味わえ、マラソン以外でも楽しめる雰囲気も良く、また来年も参加しようと考えてます。



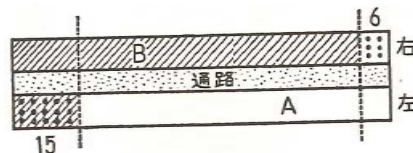
9月号の答え

B嬢が十八人分多く働いた。座席の総数がわかっていないので、たいへんむずかしい問題に思えるが、左図のように考えると、まったく簡単になる。

Brain タイヤ

斜線部がB嬢の働いた分、白の部分がA嬢の働いた分である。

とすると、まんなかの点線にはさまたれた部分は、二人とも同じ量働いている。あとは、両端をくらべてみるだけでよい。A嬢—十一人、B嬢—三十人で、答えのようになる。



◎ 正解者 0名

問題

マンハッタン地区にある、摩天楼地域には、ビルが立て込んで、ビルとビルとのあいだが、一メートルほどしかない所がある。おりしも、ビルの八階で仕事をしていて、金庫破りの名手・Wは、ニューヨーク警察の大包囲網に取り囲まれてしまった。彼はとつさに窓を開けて、一メートルほどしか離れていない隣のビルの、窓枠へ飛び移った。と思いきや、彼は墜落死してしまったのである。ベテランである彼が、飛び移りに失敗するはずがないし、死体を調べても、銃弾が命中したわけでもない。いったい、どうしたわけか。